



酒器の所有数は200個を優に超える蒐集家。「60ml入る大きさが好みます。45mlだと頼りなくて心もとないので(笑)」と酒豪な顔を見せる。女性は「浅めの盃を選べば、喉が上がり過ぎず飲み姿が美しい」のだとか



老舗呉服問屋「室崎織物」とのコラボレーションで生まれた、メイドイン京都ブランド「和をん」から、myボトル&my酒器のための正絹巾着。酒好きならではの着眼点はさすが、ボトル用3800円、酒器用1500円



「女唄酒師軍団」の頭と呼ばれる葉石さんが、遊び心で考えたハッピー、酒文化とその美味しさを伝える活動が「うまくいく」ことを願って、9頭の馬がモチーフとなっている。そんな酒落っ気もあっぱれ!

きき酒師 葉石かおり

HAISHI KAORI

ラジオレポーター、女性週刊誌の記者を経て、エッセイストとして活躍する傍ら、SSI(日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会)副会長を務める。SSI認定のきき酒師のほか、日本酒学講師、焼酎アドバイザーも資格を持ち、酒蔵や酒場の取材をはじめ、コンサルティングやセミナー講演も行う。日本酒に関する著書・連載ともに多数あり。

京KYOTIAN I.D.

京のおきばりさん

取材・文/山田涼子 撮影/石川奈都子

もっと「京の酒」に近づきたいから 今でも、京の町で暮らしている

東京生まれ。その後、幼いころに京都や神戸に転居し、現在は東京―京都間を行き来する葉石さん。伏見に酒蔵を持つ「招徳」にて酒づくりの現場に身を投じたり、京都の呉服問屋とのコラボ商品を生み出すなど、京都との縁はなかなか深く、1年半前から月の半分を京都で過ごしている。

大学卒業後ラジオレポーターとなり、アメリカ留学を経て、女性週刊誌の記者に転身。カリブの紀行文を書いたことで「書くことが好きだと気づいて」、いまではエッセイや携帯小説を手がけるほどに。肩書きとしては、「きき酒師」よりも「エッセイスト」が先である。ひとりの時間を楽しく豊かに過ごせる女性を応援する「おひとりさま向上委員会」(現在、活動中止)で代表を務めていた05年に、「おひとりさま」という単語が流行語大賞にノミネートされたことで、「おひとりさま」関連の著書も多い。今秋、「おひとりさまの京都」と題した著書も発刊予定だ。

そんな中、この先「何で」生きていこうかと考えたとき、記者時代に取得した「きき酒師」の資格を活かして、お酒にまつわるエキスパートへの道を思い描く。フリーランスでやっていく上で「武器」となるものは、「お酒しかない」と覚悟を決めたという。そして「ワイン業界では田崎真也さんには敵わないので、隙間産業を狙って(笑)」取得した「きき酒師」という肩書きが、予想以上の広がりを生むことになる。自身が酒好きなこともあり、酒関係の仕事が徐々に増え、そこで知り合った京都の酒造にて酒づくりに関わることになり、酒に対する愛は一層深まっていった。

日本酒は、「微生物と人間(＝発酵のための環境づくり)」のコラボ作品。そこにロマンを感じます。酒づくりを経験することで、酵母や発酵についてなど、細かいことまでカラダ

で分かるようになりました。まだまだ勉強は続くので、コンスタントに酒づくりをしなから、いつかは自分の酒を…と思っています。だからこそ、お酒は一滴たりとも無駄にはできない。溢したら手に塗ったりしますよ(笑)」と酒談義になると饒舌ぶりに相車がかかる。酒どころ「伏見」がある京都は、「食べるものも本当に美味しいのに、残念ながら地酒はそう多くありません。だからこそ、京の酒をもっと大事にしてほしい。伏見の水を使った京の酒の魅力を伝えたくて、お世話になっている「招徳」さんをモデルに酒蔵が舞台の携帯小説をはじめました。自ら経験した酒づくりについても詳しく紹介されているというその物語「女神の酒」の他にも、もっと多くの人に京の酒を飲んでもらえるように、「お店での品揃えを増やしてもらいたくて、お酒と料理についてコンサルティングすることも」少なくない。この料理にはこの酒、と当てはめていくのではなく「相乗効果を期待できるマリ

アージュを考えるのが仕事です」。また、彼女の事務所が老舗呉服問屋にあることから、和の文化のひとつとしての「着物」を、日本酒と「セットでアピールできれば」と考えている。着物に身を包むだけで、「生活全体が豊かになる気がしますし、所作も自然と美しくなります。着物を着ると、今晩何か美味しいものでも食べに行こうかって気持ちになりますよね。そんな葉石さんにとって、着物とは「制服みたいなもの。講演やセミナーではスーツより説得力があるので(笑)、気軽に着ています」。

生粋の京都人ではない、所謂「よそさん」という立場にあるからこそ見えるもの、伝えられるものを彼女は十分に承知している。その上で踏み込もうとする心意気が、この町に、京の酒に、新たな風を吹き込むだろう。

information

オフィシャルウェブサイト
「おひとりさまマガジン」
<http://haishikaori.com/>

お酒ブログ「美酒らん」
<http://ameblo.jp/haishi/>

携帯小説「女神の酒」
(ソニー・デジタルエンタテインメント)
http://hitokoto.mobi/novel_t/index.php?novel_id=48&adid=Qhit-136